

NO. 2 事業名 畑地帯総合整備事業（国補）

箇所・地区名 ふえふき がわ さがん 笛吹川左岸

平成25年度 公共事業再評価調書

(区分) 国補・県単

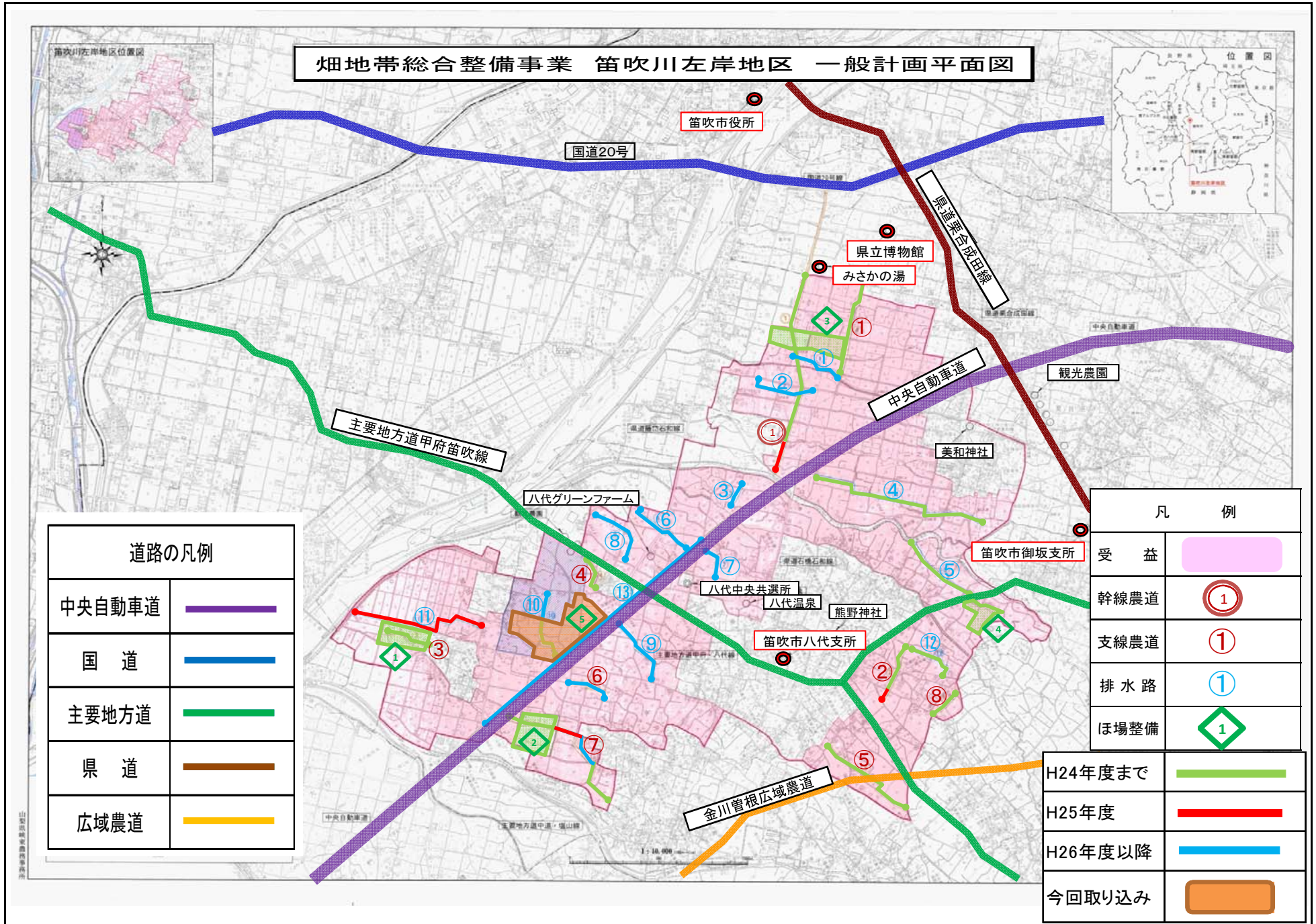
1. 再評価調書

事業名	畑地帯総合整備事業（国補）		事業箇所	笛吹市八代町・御坂町	地区名	笛吹川左岸	事業主体	山梨県
	当初計画	現計画	今回見直し予定			⑤再評価時の評価状況 （平成19年度事前評価） この事業は、県内最大の果樹産地である峡東地域のうち笛吹川左岸の御坂町、八代町にまたがる地区において、立ち遅れている農道・水路の整備や、ほ場整備を行うものである。担い手不足や農地の遊休化が顕在化している中で、農作業の効率化や経営の安定を図るため必要な事業であり、実施が妥当である。 なお、作物毎の団地化等を図るほ場整備については、特に効果が高いことから、より積極的に取り組まれない。		
計画期間	H20～H25	H20～H27	H20～H27					
総事業費	1,838百万円	1,870百万円	2,205百万円					
(1) 事業の概要								
①事業目的及び効果								
本地区は金川扇状地に展開する比較的平坦な地域で、近くに中央自動車道一宮御坂インターチェンジがあるなど生産、輸送の条件に恵まれていたことからブドウ・モモを中心とした果樹農業が盛んに行われてきた。 しかし、近年では、厳しさを増す産地間競争、農業従事者の高齢化、基盤整備の後れから、農業生産の減少や、耕作放棄地の増加が問題となっている。 このため、当事業で区画整理、農道・水路の整備を行うことにより、農作業の効率化、省力化を図り農業経営の安定化、果樹農業の維持発展を目指すものである。								
②事業概要								
農道 L=4,472m W=4.0、9.75m 排水路 L=7,133m 区画整理 A=10.0ha 暗渠排水 A=10.0ha 受益面積 A=360ha								
③全体計画								
	平成24年度まで	平成25年度 (評価実施年度)	平成26年度以降					
工事内容	農道 L=3,249m 排水路 L=2,074m 区画整理 A=9.7ha 暗渠排水 A=5.1ha	農道 L=604m 排水路 L=813m	農道 L=619m 排水路 L=4,246m 区画整理 A=0.3ha 暗渠排水 A=4.9ha					
事業費	1,398百万円	242百万円	230百万円					
④特記事項								
なし								
(2) 評価項目 [事業を巡る社会経済情勢等の変化]								
①地域・住民の意向状況								
区画整理等、事業の進展に伴い農家の営農意欲が高まっており、区画整理の要望が強く寄せられている。								
②産業・経済情勢								
なし								
③国等の方針変更								
なし								
④上位計画・関連事業計画等の変更								
第二期チャレンジ山梨行動計画（平成23年10月策定） やまなし農業ルネサンス大綱（平成23年12月改定）								
⑤自然環境条件等の変化								
なし								
⑥その他								
なし								
(3) 評価項目 [再評価時点の費用対効果分析]								
<ul style="list-style-type: none"> 事業着手時計画における事業全体B/C（H20年度） 2,581百万円/1,838百万円=1.40>1.0 再評価時計画における事業全体B/C（H25年度） 2,805百万円/2,205百万円=1.27>1.0 （農林水産省「土地改良の経済効果」により算出 採択基準値1.00以上）								

2. 再評価調書

<p>(4) 評価項目 [事業の進捗状況及び見込み]</p> <p>①計画変更等の概要 1) 計画変更等の概要 事業費を精査したこと、また、一部農道の用地交渉に日数を要したことにより、国と協議の上、総事業費を32百万円増額するとともに、工期を2年延長した。</p> <p>(事業費) 32百万円増 (計画期間) 2年延長</p> <p>②施行済みの事業内容 全体計画のとおり</p> <p>③進捗率</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>*平成20年度</td> <td>平成21年度</td> <td>平成22年度</td> <td>平成23年度</td> <td>平成24年度</td> </tr> <tr> <td>計 画</td> <td>7.1</td> <td>23.8</td> <td>50.3</td> <td>57.9</td> <td>63.4</td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td>7.1</td> <td>23.8</td> <td>50.3</td> <td>57.9</td> <td>63.4</td> </tr> </table> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>*平成25年度</td> <td>平成26年度</td> <td>平成27年度</td> <td>算出方法</td> </tr> <tr> <td>計 画</td> <td>74.3</td> <td>88.6</td> <td>100.0</td> <td>計画事業費/総事業費*100</td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td>74.3</td> <td></td> <td></td> <td>実績事業費/総事業費*100</td> </tr> </table> <p>*事業着手年度又は再評価、再々評価実施年度 *H25の実績は見込み</p> <p>④事業の進捗が順調でない理由 なし</p>		*平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	計 画	7.1	23.8	50.3	57.9	63.4	実 績	7.1	23.8	50.3	57.9	63.4		*平成25年度	平成26年度	平成27年度	算出方法	計 画	74.3	88.6	100.0	計画事業費/総事業費*100	実 績	74.3			実績事業費/総事業費*100	<p>⑤今後の事業執行上の問題点 事業の進展に伴い農家の営農意欲が高まっており、区画整理の要望が強くなっている。 このため、営農意欲が高まっている地域には、スピーディーな対応が必要。</p> <p>⑥今後の事業の進捗の見込み 予定どおり平成27年度完了見込みである。</p> <p>⑦事業計画の変更の見込み・可能性 区画整理の要望が強く合意形成が進んでいる地域について、区画整理面積を10.0ha増とする。</p> <p>併せて、それに係わる工事費、換地費、測量設計費を335百万円増額する。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>区画整理面積</td> <td>総事業費</td> </tr> <tr> <td>現計画</td> <td>10.0ha</td> <td>1,870百万円</td> </tr> <tr> <td>見直し後</td> <td>20.0ha</td> <td>2,205百万円</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>10.0haの増</td> <td>335百万円の増</td> </tr> </table>		区画整理面積	総事業費	現計画	10.0ha	1,870百万円	見直し後	20.0ha	2,205百万円	増減	10.0haの増	335百万円の増
	*平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度																																									
計 画	7.1	23.8	50.3	57.9	63.4																																									
実 績	7.1	23.8	50.3	57.9	63.4																																									
	*平成25年度	平成26年度	平成27年度	算出方法																																										
計 画	74.3	88.6	100.0	計画事業費/総事業費*100																																										
実 績	74.3			実績事業費/総事業費*100																																										
	区画整理面積	総事業費																																												
現計画	10.0ha	1,870百万円																																												
見直し後	20.0ha	2,205百万円																																												
増減	10.0haの増	335百万円の増																																												
<p>(5) 評価項目 [環境への配慮]</p> <p>既存施設の改修で地形の改変を極力少なくする路線計画としており、良好な自然環境の確保に配慮した計画である。</p>																																														
<p>(6) 評価項目 [コスト縮減の可能性]</p> <p>地形に沿った平面・縦断線形を検討し、切盛土量の減量、均衡を図る。また、土留め構造物に在石を利用するなどコスト縮減を図ってきたが、今後も更なるコスト縮減の可能性を検討していく。</p>																																														
<p>(7) 評価項目 [代替案立案の可能性]</p> <p>なし</p>																																														
<p>(8) 所管部の今後の方針 継続・<u>見直し継続</u>・その他()</p> <p>(理由) 樹園地の再編整備は県の主要課題であり、地元要望も高いことから、区画整理面積を増工し、平成27年度の事業完了を目指す。</p>																																														

3. 添付資料シート(1)





①着手前
土水路で漏水が多く、草刈り等の維持管理にも多大な労力を要していた。

用排水路



②完成後
土水路をライニングすることで漏水はなくなり、維持管理も大幅に軽減された。また土留めに在石を利用するなどコスト縮減を図った。



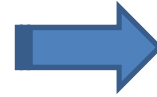
③着手前
未舗装で軽トラックがぎりぎりの幅員しかなく、農作業の大きな障害となっていた。

支線道路



④完成後
農耕車が容易にすれ違える幅員を確保し、農作業の利便性が向上した。また舗装によって荷傷みも減少した。

区画整理 増田工区



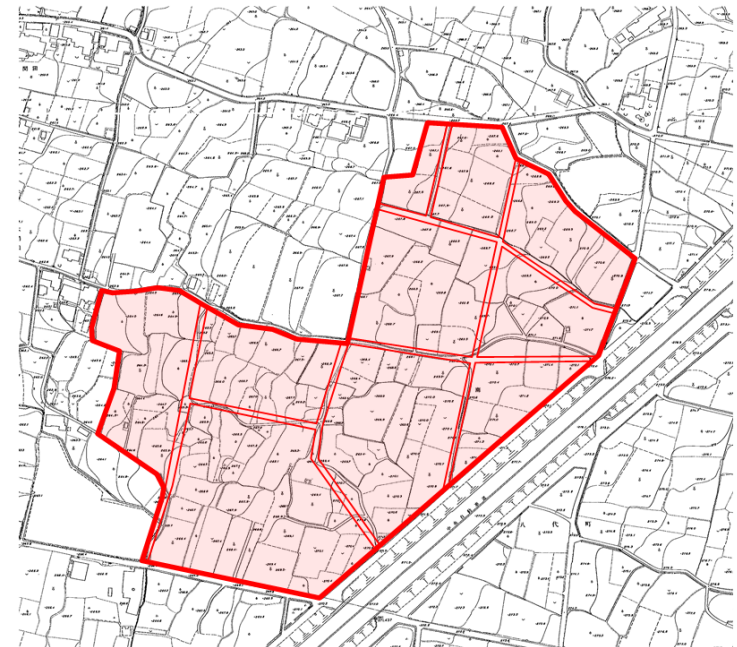
⑤着手前
区画形状が悪く、道水路が未整備なため農作業の効率が悪かった。

⑥完成後
区画が整形され、また、道水路が整備されたことにより、荷痛み防止、排水機能が向上し、営農条件が改善された。



新規要望工区
(区画整理5 八代南工区)

区画形状が悪く、道水路が未整備のため、農作業の効率が悪い。そのため、区画整理の要望が強く、すでに地域で会合がもたれている。
計画面積A=10.3ha
参加予定人数 57人
198筆



⑦着手前
区画形状が悪く、道水路が未整備なため農作業の効率が悪い。

年度別事業費内訳表

年度	見直し後事業費（千円）	事業概要			
		農道(m)	用排水路(m)	区画整理(ha)	暗渠排水(ha)
H20	157,500	274	0	2.5	0.0
H21	367,500	1,453	909	0.0	0.0
H22	583,800	887	681	3.9	2.0
H23	168,000	270	484	3.3	3.1
H24	120,750	365	0	0.0	0.0
H25	241,500	604	813	0.0	0.0
H26	315,000	232	2,133	10.3	4.9
H27	250,950	387	2,113	0.0	0.0
合計	2,205,000	4,472	7,133	20.0	10.0